

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 工藤 聡一

研究課題		航空セーフティ及びセキュリティに関する各国法制の研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	セーフティとセキュリティが、国際民間航空の諸活動において従来から最重要課題であり続けてきたにもかかわらず、この面での我が国の航空法制の整備は遅々としたものである。首都圏空港における運航の過密化は著しいが、飛行ルートの見直し程度の対策に止まっており、空域利用の効率化及び管制システムの現代化には踏み込めていない。また、ドローンについても、その産業利用可能を顧慮しない規制内容となっていると指摘されている。そこで本研究においては、米国を中心とした諸外国における先進的な立法例を調査分析したうえ、その知見をもって我が国における法整備に対する提言を行うことを目的とする。
	研究成果	セーフティとセキュリティが、国際民間航空の諸活動において従来から最重要課題であり続けてきた。今日、航空機の安全性が極限まで高められた一方で、就航便数も世界的に急増しており、今後も航空機事故の発生件数は減らないと考えられている。また、世界を震撼させた9.11米国同時多発テロの後、重大なテロ未遂事件が発生しており、いまなお空港及び航空セキュリティの確保は大きなテーマである。このような状況に鑑み、欧米各国では、航空セーフティとセキュリティに関する立法の展開が着実に進められている。すなわち、航空管制の近代化による運航能力の向上、ジェネラル・アビエーションの保安強化、従来型の民間航空に対する安全上の脅威となり得るドローン規制、あるいは空港・空港職員のバックグラウンドチェックなどについて、従来の航空及び関連法制に修正が加えられてきている。今年度、データベースからの関連文献の収集及び、遡及入力済んでいない1960年代以前の立法資料、学術書の収集を行い、その分析を継続した。とりまとめを終え次第、成果物として刊行していきたい。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし。
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし。
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	なし。